

1. 組織の概要

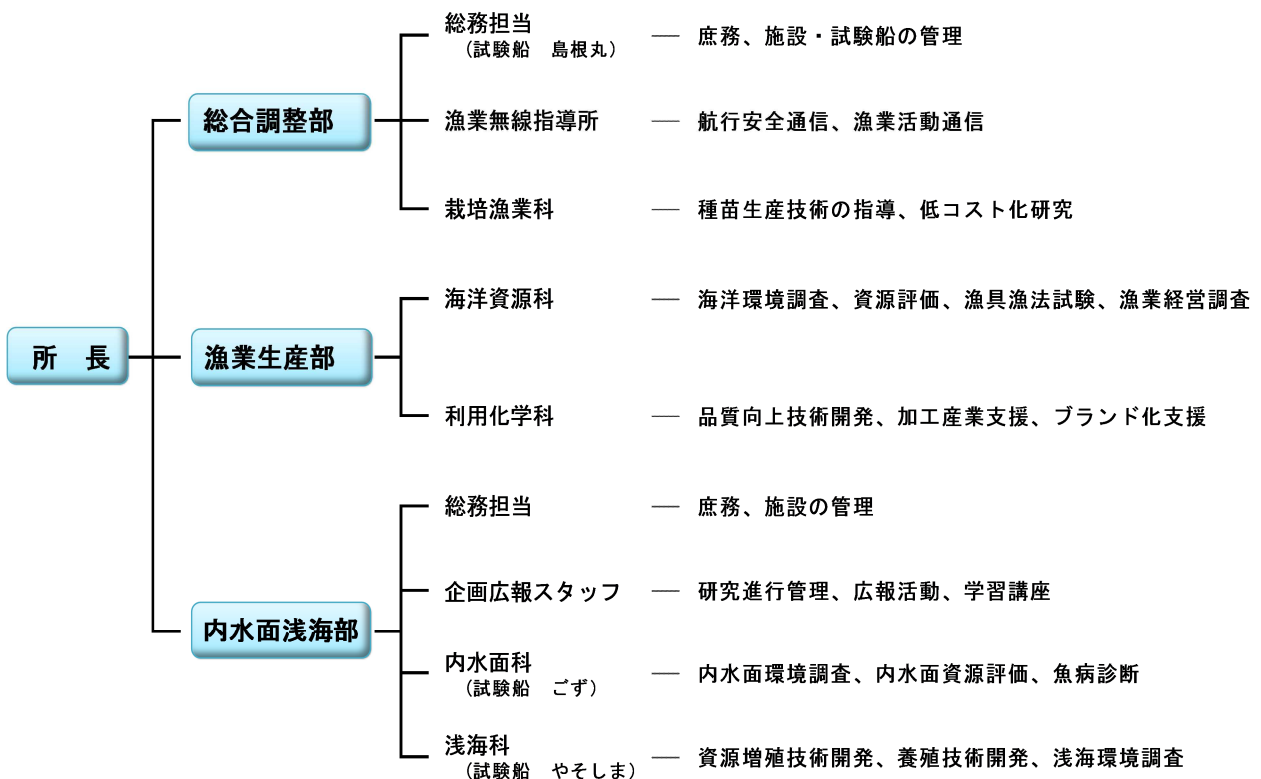
(1) 沿革

- 明治 34 年 (1901 年) 松江市殿町島根県庁内に水産試験場創設
漁労部・製造部（八束郡恵曇村江角）、養殖部（松江市内中原）
- 明治 43 年 (1910 年) 那賀郡浜田町原井に新築移転
- 大正 11 年 (1922 年) 那賀郡浜田町松原に移転
- 昭和 10 年 (1935 年) 那賀郡浜田町原井築港（現、瀬戸ヶ島）に移転
- 昭和 31 年 (1956 年) 浜田市瀬戸ヶ島町に新築移転
- 昭和 51 年 (1976 年) 隠岐郡西ノ島町に栽培漁業センター設置
- 昭和 55 年 (1980 年) 現所在地に新庁舎新築
- 平成 10 年 (1998 年) 三刀屋内水面分場を廃止し、平田市（現、出雲市）に内水面水産試験場設置
- 平成 18 年 (2006 年) 水産試験場、内水面水産試験場、栽培漁業センターを統合し水産技術センターを開所
- 平成 20 年 (2008 年) 調査船「明風」退任 漁業無線指導業務を JF しまねに委託
- 平成 22 年 (2010 年) 種苗生産業務の（社）島根県水産振興協会への委託に伴い栽培漁業部を廃止
- 平成 26 年 (2014 年) 漁業無線指導所を再設置

(2) 組織と名簿

(i) 組織図

(平成 26 年 4 月 1 日現在)



(ii) 名簿

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

所 長	中東 達夫	漁 業 生 産 部	
総 合 調 整 部		部 長	村山 達朗
部 長	昼沢 和善	利用化学科	
総務担当		科 長	井岡 久
企 画 員	中島 順	専門研究員	岡本 満
主 任	野村 敦史	専門研究員	石原 成嗣
試験船島根丸		海洋資源科	
船 長	濱上 伸夫	科 長	沖野 晃
一等航海士	前田 博士	専門研究員	向井 哲也
一等航海士	小野 充紀	専門研究員	道根 淳
航 海 士	新 貴雄	主任研究員	寺門 弘悦
甲 板 員	安井 淳	主任研究員	森脇 和也
甲 板 員	岡 俊秀		
甲 板 員	佐々木 大輝	内水面浅海部	
甲 板 員	砂廣 秀人	部 長	石田 健次
一等機関士	大石 眞吾	総 務 担 当	
機 関 士	大庭 憲宏	企 画 幹	宮崎 由紀子
通 信 長	瀬崎 康能	企画広報スタッフ	
漁業無線指導所		主任研究員(再任用)	藤川 裕司
所 長	昼沢 和善	内水面科	
企 画 員	戸島 敏夫	科 長	若林 英人
栽培漁業科		専門研究員	福井 克也
科 長	佐々木 正	専門研究員	曾田 一志
主 任	近藤 徹郎	主任研究員(再任用)	勢村 均
		浅海科	
		科 長	清川 智之
		専門研究員	松本 洋典
		専門研究員	開内 洋
		主任研究員	吉田 太輔
		試験船やそしま	
		船 長	藤江 大司
		機 関 長	宮崎 圭司

(3) 配置人員

職種別人員表

職 種	所 長	総合調整部					漁業生産部			内水面浅海部					計	
		部 長	総 務 担 当	試 験 船 島 根 丸	漁 業 無 線 指 導 所	栽 培 漁 業 科	部 長	利 用 化 学 科	海 洋 資 源 科	部 長	総 務 担 当	企 画 広 報 ス タ フ	内 水 面 科	浅 海 科		試 験 船 や そ し ま
行政職	1	1	2		1	1					1					7
研究職						1	1	3	5	1		1	4	4		20
海事職				11											2	13
計	1	1	2	11	1	2	1	3	5	1	1	1	4	4	2	40

2. 平成 26 年度予算額

(1) 事務事業別予算額

費 目	予算額	備 考
行政事務費	4,477,872	
管理運営費	30,600,000	
船舶保全費	23,600,000	島根丸(142t)、やそしま(9.1t)、ござ(8.5t)
漁業無線管理運営費	13,049,000	
農林水産試験研究機関施設等整備費	12,415,000	
石見地域施策推進費	1,500,000	
県単試験研究費	42,767,300	
国補試験研究費	4,980,000	
受託試験研究費	37,476,695	(独)水産総合研究センターほか
交付金試験研究費	110,560	
その他	193,830	
合 計	171,170,257	

(2) 研究事業別予算額

(単位：円)

事業名称	区分	活動名称	予算額
農林水産試験研究推進事業	県単	宍道湖・中海再生プロジェクト研究 (A)	4,558,300
		宍道湖・中海再生プロジェクト研究 (B)	1,600,000
宍道湖・中海水産資源維持再生事業	県単	宍道湖有用水産動物モニタリング調査	7,793,000
		中海有用水産動物モニタリング調査	1,937,000
水産技術センター 基礎的試験研究費	県単	第2県土水産資源調査事業	2,149,000
		浅海増養殖調査事業	1,575,000
		河川域水産資源調査事業	2,233,000
		食品産業基礎調査事業	2,142,000
		藻場分布状況モニタリング調査	496,000
		予備的試験研究	1,611,000
水産技術センター 課題解決試験研究費	県単	沖合底びき網漁業における省エネ・省力・省人化漁具の開発	4,898,000
		食用小型藻類の養殖技術開発試験	1,607,000
		基幹漁業漁獲物の高鮮度化と売れる商品づくり技術の開発	2,150,000
		江の川における天然アユ再生による資源回復手法の開発	4,092,000
水産技術センター 受託研究費	受託	日本周辺クロマグロ調査事業	3,892,000
		大型クラゲ出現調査及び情報提供事業	823,000
		大型クラゲ沖合分布調査	3,778,000
		フロンティア魚礁生物調査事業	8,029,000
		外洋性赤潮の被害防止対策事業	617,000
		アユ等漁獲制限技術開発	1,900,000
		ゴミ資源状況調査	300,000
		漁船活用型資源情報収集等支援事業	289,000
		二枚貝の自律的資源再生手法の開発	2,392,000
漁獲管理事業	受託	資源評価調査事業	12,121,560
		資源管理体制推進事業	3,335,135
	補助	機動的禁漁区設定による底びき網漁業の管理	3,192,000
	県単	底魚類の資源回復のための漁獲管理システムの開発	2,502,000
水産物衛生・安全対策事業	県単	魚介類安全対策事業	169,000
	補助	魚介類安全対策事業	1,468,000
		コイヘルペスウイルス病まん延防止事業	320,000
原子力安全対策事業	交付	環境放射線調査監視事業	110,560
	県単	温排水環境影響調査事業	1,255,000
合 計			85,334,555

3. 出前・受入講座の件数

(1) ものしり出前講座

担当部署	開催年月日	団体名	人数	備考
漁業生産部	H26. 7. 27	美又湯気の里づくり委員会	50	親子がふれあう川の学校
内水面科	H26. 6. 17	意東小学校	68	意東川探検
	H26. 7. 27	江川流域保全協議会活動組織	60	アユの生態及び他の水産生物について
浅海科	H26. 7. 12	JFしまね美保関支所	30	島根県の藻場状況について

(2) みらい講座（受入講座）

担当部署	開催年月日	団体名	人数	備考
漁業生産部	H26. 6. 11	県立浜田高等学校理数科(2年生)	32	施設見学、講義、研修
	H26. 7. 4	浜田市立弥栄小学校(5年生)	7	浜田の水産業
	H26. 8. 27	沢谷交流センター	17	島根県の水産業
	H26. 10. 10	浜田市立長浜小学校(5年生)	53	浜田の水産業、水技Cの仕事
	H26. 11. 19	浜田市立原井小学校(5年生)	33	浜田の水産業
内水面科	H26. 7. 31	県立平田高等学校、県立出雲農林高等学校、私立開星高等学校	3	農林水産の研究現場を体験してみよう 2014
	H26. 9. 25-26	出雲市立第三中学校	2	宍道湖の環境とヤマトシジミ
浅海科	H26. 6. 18	松江市立恵曇小学校	10	栽培漁業について、施設見学
	H26. 8. 8	子供租税教室	35	水産技術センターの業務内容について

4. 漁業関係者への研修・技術指導の実績

担当部署	年月日	会議、集會名/内容等（対象）	場所
漁業生産部	H26. 4. 1	水産物利用加工技術相談/レトルト食品の製品化に関する加工技術指導(食品加工業者、桜江町商工会)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 4	水産物利用加工技術相談/製品開発に関する加工技術指導(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 9	島根大学連携研究内容協議/カレイ類の成分特性評価に関する技術情報の交換及び助言(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 11	水産物利用加工技術相談/低温乾燥機開発に関する指導助言(乾燥機器メーカー)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 14	水産物利用加工技術相談/カレイ加工品の製造技術情報の提供(他県水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 15	島根大学連携研究成果情報交換会/カレイ類成分調査結果に関する情報交換及び取り組み内容の協議(島根大学、浜田市)	島根大学生物資源科学部
	H26. 4. 16	水産物利用加工技術相談/氷温技術に関する現地調査への同行及び技術の評価(漁業者)	鳥取県米子市氷温研究所ほか
	H26. 4. 16	水産物利用加工技術相談/ブリの脂質含量情報の提供(他県冷蔵庫保管業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 16	水産物利用加工技術相談/アユの冷凍技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 17	水産物利用加工技術相談/低温乾燥機開発に関する指導助言(乾燥機器メーカー)	水技センター浜田庁舎

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
漁業生産部	H26. 4. 21	水産物利用加工技術相談/魚醤油製造に関する指導助言(他県食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 21	水産物利用加工技術相談/カレイ類成分調査結果の活用法に関する指導助言(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 23	水産物利用加工技術相談/浜田産カレイの成分調査法に関する指導助言(浜田市・島根大学)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 23	水産物利用加工技術相談/加工施設整備に関する助言(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 4. 30	水産物利用加工技術相談/近赤外分光法による脂質測定技術に関する指導助言(県外行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 2	水産物利用加工技術相談/加工品の品質評価と指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 7	水産物利用加工技術相談/島根県産メダイの入手方法に関する助言(県外者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 10	平成26年度ばいご漁業部会/H25年漁期水揚げ状況の報告	JFしまね大田支所
	H26. 5. 12	水産物利用加工技術相談/加工品の品質評価の実施及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 21	浜田の四季の魚選定委員会/水産物のブランド化に関する協議(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 26	水産物利用加工技術相談/近赤外分光法による脂質測定器に関する情報提供(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 27	水産物利用加工技術相談/生鮮魚の規格・基準に関する情報交換及び助言(東京海洋大学)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 27	水産物利用加工技術相談/ウニの加工試験の実施と指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 27	水産物利用加工技術相談/製品開発技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 28	水産物利用加工技術相談/製品開発技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 28	島根大学連携研究内容協議/浜田産カレイの成分特性評価に関する協議(島根大学・浜田)	水技センター浜田庁舎
	H26. 5. 30	農水商工委員会県内視察対応/浜田の水産加工業の現況報告	浜田合庁
	H26. 6. 5	水産物利用加工技術調査報告/キノコエキスによるカニの黒化防止試験結果報告(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 6. 5	水産物の品質評価技術相談/グリコーゲンの定量技術情報の提供(山口県立高校学校)	水技センター浜田庁舎
	H26. 6. 6	水産物利用加工技術相談/学校給食への水産物供給に関する指導助言(海士町)	水技センター浜田庁舎
	H26. 6. 6	水産物利用加工技術相談/イワガキの品質に関する技術情報提供及び助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 6. 11	水産関係技術情報提供/県立浜田高校理数科生徒を対象とした技術研修対応(浜田高校)	水技センター浜田庁舎
	H26. 6. 16	沖底漁獲物付加価値向上技術検討会/沖底リシップ船漁獲物の出荷技術に関する協議(浜田あけぼの水産)	浜田あけぼの水産
	H26. 6. 17	水産物利用加工技術相談/冷凍食品の期限表示に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 6. 21	島根県小型機船漁業協議会総会/底魚資源の動向と選択漁具試験の状況(漁業関係者)	大田市商工会議所
	H26. 6. 27	水産関係技術情報提供/沖底漁労長との意見交換会(漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 7. 11	水産物利用加工技術相談/あご出汁に関する技術情報の提供及び助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 7. 16	水産物利用加工技術相談/どんちっちまあじ原魚及び加工品品質評価試験の実施及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
漁業生産部	H26. 7. 20	島根県小型機船漁業協議会石見部会全体会/底魚資源の状況と海況 (漁業関係者)	大田市 (大田商工会議所)
	H26. 7. 28	島根県機船底曳網漁業連合会総会/沖合底びき網漁業に関する水技Cの取組みについて (漁業関係者)	浜田市鈴蘭別館
	H26. 8. 1	水産関係技術情報提供/浜田の塩干カレイ製造技術に関する技術情報の提供 (マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 1	水産物利用加工技術相談/ブリ加工品の品質評価試験結果報告及び指導助言 (水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 6	水産関係技術情報提供/浜田産カレイ塩干品製造技術に関する取材協力(マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 7	水産関係技術情報提供/「浜田の美味しい魚」取材協力(マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 7	「浜田港四季のお魚」選定会議/水産物のブランド化に関する意見提案(浜田市)	JFマリンバンク浜田支店
	H26. 8. 7	水産物取扱技術研修会/沖底船における冷海水処理技術の勉強会(漁業者)	浜田漁港港内
	H26. 8. 8	水産物利用加工技術相談/加工品の品質に関する指導助言 (水産加工業)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 19	水産物利用加工技術相談/利用加工技術に関する指導助言(浜田市、飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 20	水産関係技術情報提供/加工技術研修会開催に関する指導助言 (県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 27	水産物利用加工技術相談/水処理及び加工技術に関する指導助言(環境設備企業)	水技センター浜田庁舎
	H26. 8. 27	水産関係技術情報提供/魚介類中の異物に関する情報提供及び助言(一般県民)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 1	水産物利用加工技術相談/低温乾燥機性能試験結果報告及び指導助言 (乾燥機器メーカー)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 1	水産物利用加工技術相談/レトルト加工品の開発に関する助言 (食品加工企業)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 3	島根大学連携研究内容協議/浜田産カレイの品質評価研究に関する協議(島根大学)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 3	水産物利用加工技術相談/低温乾燥機機能性調査の実施及び指導助言(乾燥機器メーカー)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 3	高津川漁協漁場検討委員会/高津川アユ資源の状況について(漁業者)	益田市 (豊田公民館)
	H26. 9. 5	水産物利用加工技術相談/高品質塩干カレイの製造技術報告書に関する助言 (浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 8	水産物利用加工技術相談/カレイ塩干品加工技術に関する助言(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 9	水産物利用加工技術相談/ホンモロコの加工試験の実施及び指導助言 (食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 9	海外視察団研修対応/モルディブJICA研修員に対する技術情報の提供	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 10	水産関係技術情報提供/浜田市における加工の現況について情報提供 (マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 10	水産関係技術情報提供/カレイ塩干品の成分特性に関する取材協力(マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 11	水産物利用加工技術相談/魚醤油製造技術に関する指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 16	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工技術に関する指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 17	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
漁業生産部	H26. 9. 17	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 22	水産物利用加工技術相談/加工品の異物に関する調査及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 24	水産物利用加工技術相談/干物製造における無酸素水の活用技術に関する助言(環境設備企業、産技C)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 24	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工試験の実施と指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 26	水産物のブランド化に関する協議/沖底高鮮度魚の販促に関する技術情報提案(県行政機関、浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 26	水産加工事業者研修会/浜田産カレイの成分調査結果報告及び意見提案(浜田中央水産加工業協同組合)	浜田市内会議場
	H26. 9. 26	水産関係技術情報提供/トビウオの干物に関する技術情報の提供(県外者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 29	水産関係技術情報提供/ホンモロコ加工技術情報の提供(桜江町商工)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 29	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H26. 9. 30	水産関係技術情報提供/加工技術に関する指導助言(浜田魚商人組合)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 2	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 2	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 3	水産物利用加工技術相談/近赤外分光測定器開発に関する意見提案(分析機器製造メーカー)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 8	水産物利用加工技術相談/高鮮度ガレイ品質調査及び意見交換(飲食事業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 8	水産物利用加工技術相談/加工品製造技術に関する指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 8	水産物利用加工技術相談/加工品の開発に関する指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 8	水産物利用加工技術相談/カレイ成分分析結果の活用に関する助言(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 8	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 10	水産物利用加工技術相談/浜田産魚類の美味しさに関する情報提供及び指導助言(飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 14	水産関係技術情報提供/しまねふるさと食品認証委員会における意見提案(県行政機関)	県庁会議棟
	H26. 10. 15	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 20	島根大学連携研究対応/カレイ成分分析技術に関する意見交換会(水産加工業者、島根大学、浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 22	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工試験の実施と指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 22	水産物のブランド化協議/高鮮度ガレイ試食会に関する意見交換会(県行政機関、浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H26. 10. 29	水産養殖技術調査対応/ホンモロコ養殖場調査及び指導源(養殖業者)	桜江町谷住郷養殖場
	H26. 10. 30	水産物利用加工技術相談/加工品の開発に関する指導助言(水産加工業)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 5	水産関係技術情報提供/浜田市観光資源関連調査に関する情報提供及び助言(広報誌作成業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 5	水産物のブランド化協議/高鮮度ガレイ試食会内容に関する意見交換会(県行政機関、浜田市)	水技センター浜田庁舎

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
漁業生産部	H26. 11. 6	島根大学連携研究対応/塩干カレイ加工状況調査及び助言 (島大、浜田市、水産加工業者)	浜田市内加工場
	H26. 11. 6	水産関係技術情報提供/漁獲物の品質調査及び指導助言 (漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 10	水産関係技術情報提供/シジミの成分データ情報の解析結果報告 (県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 17	水産物利用加工技術相談/低温乾燥機性能評価試験結果報告及び指導助言 (乾燥機器メーカー)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 19	水産関係技術情報提供/ウップルイノリの成分分析結果の評価と助言 (マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 20	水産物利用加工技術相談/ベニズワイガニの黒変防止技術に関する意見交換会 (水産物取扱業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 20	水産関係技術情報提供/アンコウに関する情報提供及び助言 (広報誌作成業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 26	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工技術に関する指導助言 (食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 26	水産物のブランド化技術相談/タイの神経締めに関する技術情報の提供及び指導助言 (漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 27	水産関係技術情報提供/水産物に関する情報提供及び助言 (マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 11. 27	水産関係技術情報提供/水産物に関する情報提供及び助言 (マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 4	漁獲物の高品質化技術相談/漁獲物の鮮度保持のための船上処理技術に関する指導助言 (漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 4	水産関係技術情報提供/ノドグロの干物に関する技術情報の提供 (県外者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 5	水産関係技術情報提供/電気伝導度による脂質測定器に関する技術情報の提供及び助言 (県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 5	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言 (浜田水産高校)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 8	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言 (浜田水産高校)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 9	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言 (漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 9	水産物利用加工技術相談/魚醤油品質評価結果報告及び指導助言 (県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 10	水産物利用加工技術相談/近赤外分光測定器技術研修の実施 (隠岐の島町、県行政機関)	隠岐支庁
	H26. 12. 10	水産物利用加工技術相談/高鮮度ミズガレイの利活用技術に関する指導助言 (飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 10	水産関係技術情報提供/高鮮度ミズガレイに関する技術情報の提供と指導助言 (マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 11	水産関係技術情報提供/「アンコウ」に関する取材対応及び助言 (広報誌作成業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 12	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工マニュアルの作成・提示 (食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 12	水産物利用加工技術相談/ミズガレイ一夜干しの品質評価結果報告 (水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 12	水産関係技術情報提供/シイラの食中毒に関する技術情報提供及び助言 (県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 24	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工試験の実施及び指導助言 (食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H26. 12. 25	高津川漁協漁場検討委員会/アユ資源の状況について (漁業者)	益田市 (豊田公民館)

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
漁業生産部	H27. 1. 5	島根大学連携研究内容協議/浜田産カレイの品質評価に関する技術情報の提供及び助言(浜田市)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 6	水産関係技術情報提供/クサフグを捕食したマダイの喫食に対する助言(漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 14	水産関係技術情報提供/ノドグロに関する情報提供及び助言(他県マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 14	水産物利用加工技術相談/イワガキのえぐ味に関する技術情報の提供及び助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 15	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工試験の実施及び指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 20	水産物利用加工技術研修/隠岐産ミズガニ黒変防止試験及び加工技術研修会対応(県行政機関)	隠岐支庁
	H27. 1. 23	水産物利用加工技術相談/加工製品の開発に関する技術相談及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 26	水産物利用加工技術相談/低温乾燥機による塩干カレイ試作試験報告及び助言(乾燥機器メーカー)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 26	水産物利用加工技術相談/ブリの生ハム製造に関する指導助言(隠岐水産高校)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 27	水産物利用加工技術相談/ブリの生ハム製造に関する指導助言(隠岐水産高校)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 29	水産物利用加工技術相談/アジ加工品の品質評価及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 1. 31	水産物利用加工技術相談/高鮮度加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 2	水産物利用加工技術相談/近赤外分光法による測定技術に関する指導助言(県外行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 3	水産関係技術情報提供/クジラ飯の由来情報提供(マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 3	水産物利用加工技術相談/シジミの成分データ情報提供及び助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 4	水産物利用加工技術相談/ミズガニの黒変防止技術相談及び助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 5	水産物利用加工技術相談/水産物の品質に関する技術情報の提供及び指導助言(飲食店)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 9	水産物利用加工技術相談/レトルト加工技術に関する指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 10	水産物利用加工技術相談/ホンモロコ加工技術に関する指導助言(食品加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 16	水産物利用加工技術相談/ノドグロ加工品の品質評価及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 16	水産物利用加工技術現地調査/ミズガニ黒変防止試験の実施及び指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 19	水産物利用加工技術相談/ケンサキイカの加工技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 19	水産物利用加工技術相談/マフグ高鮮度加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 19	水産物利用加工技術相談/ブリの生ハム製品品質評価及び指導助言(隠岐水産高校)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 23	水産物利用加工技術相談/ケンサキイカの品質評価に関する技術情報の提供及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 24	漁獲物取扱技術情報の提供/活け技術情報の提供及び指導助言(漁業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 2. 26	水産物利用加工技術相談/加工品製造技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
漁業生産部	H27. 2. 26	水産物利用加工技術相談/チョウザメの加工技術に関する指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 3	水産物利用加工技術相談/炭を活用した加工技術に関する協議(製炭製造メーカー)	益田市美都町粉炭工場
	H27. 3. 3	水産物利用加工技術相談/出汁素材のイノシン酸含量調査結果報告及び指導助言(県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 5	水産物利用加工技術相談/加工技術に関する指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 11	水産関係技術情報提供/オゴノリのアルカリ煮熟に関する技術情報の提供及び助言(他県行政機関)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 12	水産物利用加工技術相談/アマダイ加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 13	水産関係技術情報提供/浜田漁港に水揚げされるマサバ脂質含量情報の提供及び助言(一般県民)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 14	ばいご漁業部会/H26 漁期の水揚げ状況報告およびTACの変更協議	JFしまね大田支所会議室
	H27. 3. 15	江川漁業協同組合総代会/江の川での取り組みの進捗状況(漁業関係者)	川本町(江川漁協)
	H27. 3. 17	貝毒調査新観測点候補選定調査/現地調査の実施と評価(県行政機関)	益田市沿岸漁港
	H27. 3. 17	水産物利用加工技術相談/ワカメ原藻の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 17	水産物利用加工技術相談/ウナギ加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 17	水産物利用加工技術相談/アマダイの品質に関する技術情報の提供及び指導助言(他県流通業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 18	水産関係技術情報提供/どんちっちアジに関する技術情報の提供及び助言(マスコミ)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 18	水産物利用加工技術相談/マフグ味醂干し品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 19	水産物利用加工技術相談/マサバフィレー加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 19	水産物利用加工技術相談/青のり加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 23	水産物利用加工技術相談/しじみ汁に関する情報提供及び指導助言(シジミ流通業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 24	水産物利用加工技術相談/わかめ佃煮中の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 25	天然アユがのぼる江の川づくり検討会/江の川におけるアユ資源回復の取組みと今後の調査計画、人工種苗の漁獲特性等(漁業関係者)	川本町「すこやかセンターかわもと」
	H27. 3. 26	水産物利用加工技術相談/海藻加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 31	水産物利用加工技術相談/ブリ加工品の品質評価結果報告及び指導助言(隠岐水産高校)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 31	水産物利用加工技術相談/シジミ乾燥品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
	H27. 3. 31	水産物利用加工技術相談/ワカメ加工品の品質評価結果報告及び指導助言(水産加工業者)	水技センター浜田庁舎
内水面 浅海部	H26. 6. 27	ハバノリ等試験養殖検討会/ハバノリ、ワカメの養殖試験経過の説明(漁業者、行政機関)	JFしまね平田支所
	H26. 7. 23	サルボウガイ人工種苗生産指導/サルボウガイ幼生の飼育管理について(漁業者)	中海(入江、万原)
	H26. 8. 13	サルボウガイ人工種苗生産指導/サルボウガイ採苗方法、飼育方法について(漁業者)	中海(入江、万原)

担当部署	年月日	会議、集会名/内容等 (対象)	場所
	H26. 8. 13	サルボウガイ人工種苗生産指導/サルボウガイ採苗方法、飼育方法について (漁業者)	中海 (入江、万原)
	H26. 11. 7	アユ種苗生産/技術指導 (漁業関係者)	江川漁協 (あゆ種苗生産センター)
	H26. 11. 20	アユ種苗生産/技術指導 (漁業関係者)	江川漁協 (あゆ種苗生産センター)
	H26. 12. 12	中海カキの養殖手法検討会/中海のカキ養殖試験に (漁業者、行政機関)	松江市職員会館
	H26. 12. 24	アユ種苗生産/技術指導 (漁業関係者)	江川漁協 (あゆ種苗生産センター)
	H27. 1. 6	アユ種苗生産/技術指導 (漁業関係者)	江川漁協 (あゆ種苗生産センター)
	H27. 1. 25	サケ種苗生産/技術指導 (漁業関係者)	神戸川漁協
	H27. 2. 16	アユ種苗生産/技術指導 (漁業関係者)	江川漁協 (あゆ種苗生産センター、あゆ中間育成施設)
	H27. 3. 7	出雲地区水産シンポジウム/県内の藻場状況、磯焼けについての説明 (漁業者、行政機関)	松江市サンラポーむらくも

5. 問い合わせ件数 (平成 26 年度分)

	漁協・水産団体等	漁業者・水産加工業者	官公庁	学校等	マスコミ等	一般企業	一般県民	その他	合計
漁場・環境		1	3	2	4	1	2		13
魚・水生生物	1	4	5	1	23	5	2	1	42
漁業			1		6				7
利用加工		5	3		4	3	3		18
栽培・養殖				2	2				4
安全・安心	1	13				1	3		18
漁業被害								1	1
珍魚・特異現象			1		2				3
その他		1	1		3	1			6
合計	2	24	14	5	44	11	10	2	112

6. 発表業績

(1) 学術誌等での発表

○ 学術誌での発表

- ・ 宍道湖, 中海におけるワカサギの産卵場と産卵期: 藤川裕司・片山知史, 水産増殖, **62**(4), 375-384 (2014. 12).
- ・ 半屋外 100k1 水槽を用いたイワガキ *Crassostrea nippona* 付着期幼生の生産の試み: 佐々木正・常盤 茂, 水産増殖, **62**(4), 433-440 (2014. 12).

・島根県東部におけるゴギ生息状況調査（2013年）：曾田一志・福井克也・沖野晃，ホシザキグリーン財団研究報告，**18**，103-109（2015.3）.

○ 学会・研究集会等での口頭発表

- ・ 中海の水産資源の復活：開内洋，「将来の農林水産業を支える技術開発プロジェクト」中間成果発表会，資料配付（2014.8）.
- ・ 島根県沖合底びき網漁業における機動的禁漁区の設置によるアカムツ若齢魚の資源保護効果の検討
宮原寿恵・原田泰志・井上誠章・金岩稔・高澤拓哉・道根淳・沖野晃・村山達朗 平成26年度日本水産学会秋季大会要旨集（2014.9）.
- ・ 宍道湖におけるヤマトシジミの資源量の推移：勢村均・向井哲也・若林英人，第6回汽水域研究会網走大会要旨集（2014.10）.
- ・ 島根県におけるヒラメ稚魚のシュードモナス症について：吉田太輔，西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会，資料配付（2014.10）.
- ・ 島根県沖合におけるアカムツ未成魚漁獲予測モデルの予測能とその効果検証：高澤拓哉・金岩稔・原田泰志・宮原寿恵・道根淳・沖野晃・村山達朗，2014年度水産海洋学会研究発表大会要旨集（2014.11）.
- ・ 養殖ホンモロコの鮮度：岡本満・井岡久・石原成嗣，平成26年度水産利用研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料，p.12-13（2014.11）.
- ・ 沖合底びき網漁業の冷海水使用によるムシガレイの高鮮度化：岡本満・井岡久・石原成嗣・村山達朗・沖野晃・齋藤寛之・細田昇・佐藤勇介・安木茂，平成26年度水産利用研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料，p.14-15（2014.11）.
- ・ 高鮮度ムシガレイのフィレー：岡本満，第20回低・未利用資源有効利用研究連絡会，資料配布（2014.11）.
- ・ 沖合底びき網で漁獲されたタイ類の脂質含量：石原成嗣・井岡久・岡本満，平成26年度水産利用研究開発推進会議利用加工技術部会研究会資料，p.36-37（2014.11）.
- ・ 中海におけるアサリ籠養殖試験について：開内洋，平成26年度西部日本海ブロック増養殖会議（2014.11）.
- ・ 島根県の藻場調査について：吉田太輔，西部日本海ブロック増養殖担当者会議，資料配布（2014.11）.
- ・ 中海のサルボウガイについて：開内洋，島根大学研究機構汽水域研究センター第22回汽水域研究発表会要旨集，p.33（2015.1）.
- ・ 宍道湖、中海におけるワカサギの産卵場と産卵期：藤川裕司・片山知史，島根大学汽水域研究センター第22回汽水域研究発表会講演要旨集，p.51（2015.1）.
- ・ 江の川におけるアユ仔魚の降下時間推定の試み：寺門弘悦、曾田一志、赤松良久，全国湖沼河川養殖研究会アユ資源研究部会報告書（平成26年度），p.25-26（2015.2）.
- ・ 島根県におけるヒラメ稚魚のシュードモナス症について：吉田太輔，中国5県水産系広域連携担当者会議（種苗生産技術グループ），資料配付（2015.2）.

- ・島根県中海におけるサルボウガイの籠垂下養殖技術の開発について：開内洋，平成 26 年度日本海ブ
ロック水産業関係研究開発推進会議増養殖研究会要旨集，p. 18 (2015. 2).
- ・島根県浜田地区（浜田港における沖合底びき網漁業構造改革の取組）：村山達朗・道根淳，日本水産
学会第 65 回漁業懇話会講演会「沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究」，p. 19-23 (2015. 3).
- ・クロマグロ 0 歳魚加入量の広域的なリアルタイムモニタリング体制の構築：大島和浩・鶴岡鯨魚・
鈴木伸明・山田浩且・御所豊穂・杉本昌彦・東明浩・高木信夫・寺門弘悦・向井哲也，平成 27 年度
日本水産学会春季大会要旨集 (2015. 3).
- ・島根県沖合底びき網漁具の抵抗軽減に関する模型実験：山根万知・江幡恵吾・沖野晃・鈴木勝也，
平成 27 年度日本水産学会春季大会要旨集 (2015. 3).
- ・沖合底びき網で漁獲されたタイ類の脂質含量：石原成嗣・井岡久・岡本満，平成 26 年度水産物の利
用に関する共同研究第 55 集，p. 39-42 (2015. 3).
- ・冷却時の海水温度によるタイ類の色調：岡本満・井岡久・石原成嗣・永田善明，平成 26 年度水産物
の利用に関する共同研究第 55 集，p. 37-38 (2015. 3).
- ・食用小型藻類の養殖技術開発試験について：吉田太輔，中国 5 県公設試験研究機関共同研究（藻場
造成技術の確立・ガラモ場）担当者会議，資料配付 (2015. 3).
- ・島根県の藻場調査について：吉田太輔，中国 5 県公設試験研究機関共同研究（藻場造成技術の確立・
ガラモ場）担当者会議，資料配付 (2015. 3).

(2) 報道実績

日付	新聞社・報道局等	内容	担当部署
H26. 4. 12	島根日日新聞	漁師育成のアカアマダイ放流/広がり期待	浅海科
H26. 4. 25	山陰中央新報	高津川アユ遡上遅れ 昨秋台風で卵流される？	内水面科
H26. 4. 25	山陰中央新報	中海産アサリ初出荷 約 50 キロ、小ぶり目立つ	浅海科
H26. 5. 3	中国新聞	深海生物相次ぎ発見 山陰の日本海でダイオウイカやサケガシラ	浅海科
H26. 6. 7	山陰中央新報	幻の源流魚・ゴギ 横道川(津和野)で体長 35 センチ	内水面科
H26. 6. 11	山陰中央新報	コノシロ死骸 宍道湖で 6933 匹 産卵後の疲弊か	内水面科
H26. 6. 11	島根日日新聞	6933 匹に拡大/宍道湖のコノシロ死	内水面科
H26. 6. 21	山陰中央新報	付着のフジツボミキサーで除去 サルボウガイ磨きに効果	浅海科
H26. 6. 23	島根日日新聞	コノシロのへい死 2 万匹以上に	内水面科
H26. 6. 25	島根日日新聞	漁解禁もアユ釣れず/専門家による調査へ	内水面科
H26. 7. 16	水産経済新聞	島根 25 年漁期底びき網漁業の動向	海洋資源科
H26. 8. 5	島根日日新聞	宍道湖のシジミ大幅回復	内水面科
H26. 8. 9	山陰中央新報	税金の使い道児童学ぶ 松江 関係施設見学ツアー	浅海科
H26. 8. 18	中国新聞	すごいぞ！島根の日本一④ 47.3%(干シカレイ生産量シェア)	利用化学科
H26. 9. 17	みなと新聞	宍道湖のシジミ漁好転 資源回復 2.8 倍に	内水面科

日付	新聞社・報道局等	内容	担当部署
H26. 9. 18	島根日日新聞	有害赤潮7年ぶり発生/県が警報	浅海科
H26. 9. 25	中国新聞	海藻減り漁場喪失 進む磯焼け 県が藻場調査	浅海科
H26. 10. 16	中国新聞	どんちっちアジ水揚げ低調 浜田漁港 春の水温低下影響か	漁業生産部
H26. 11. 20	島根日日新聞	マイワシは期待できず/今年度下半期漁況予報	海洋資源科
H27. 1. 1	山陰経済ウィークリー	ミズガレイを刺身で食べる取り組み始まる	利用化学科
H27. 1. 18	山陰中央新報	ワカサギ釣り楽しめる尾原ダムに 生息調査 今年1匹	内水面科
H27. 1. 26	中国新聞	今冬 マフグが豊漁 新たな看板魚種に期待	海洋資源科
H27. 1. 29	みなと新聞	マダラ6.1トン 98年以降最高に 島根小型底引14年漁期前半	海洋資源科
H27. 1. 29	みなと新聞	単価高で金額2%増 数量はシケなどで減少 島根沖底14年漁期前半	海洋資源科
H27. 1. 29	読売新聞	底引き網漁 水揚げ7億円 浜田港8~12月 過去10年で2番目	海洋資源科
H27. 2. 2	水産経済新聞	小底、金額・漁獲とも減 島根の底引網漁 台風などで出漁日減	海洋資源科
H27. 2. 28	朝日新聞	食べぶら 色とりどり 海の神秘 海士のヒオウギ貝(上)	栽培漁業科
H27. 3. 8	島根日日新聞	魚介類の調査と研究成果発表/宍道湖・中海再生構想委	内水面科
H27. 3. 15	山陰中央新報	アマサギ明るい兆し 今冬615匹漁獲 夏の低い水温好影響	内水面科
H27. 3. 17	山陰中央新報	中海赤貝 来年度出荷5トン目指す 稚貝増やし量確保	浅海科
H27. 3. 17	島根日日新聞	昨年の県漁業、生産額は194億円で102%	海洋資源科

(3) その他情報提供一覧（関係機関へ情報提供するとともにホームページで公開）

	漁業生産部			内水面科	各部共通			
	トビウオ通信	トビウオ通信 漁況速報	海況情報	宍道湖・中海水質 情報 大橋川水質情報	とびつくす	水産技術セン ターだより	事業年報	研究報告
内容	主要魚種の漁況予報、主要漁業の漁況のとりまとめ	県内主要漁業(まき網、いか釣り、沖合底びき網、小型底びき網、定置網、釣り・縄)の漁獲統計、沿岸水温の情報提供	試験船による海洋観測終了後、近隣海域の情報を加えた等温線図、平年偏差図の情報の提供	宍道湖・中海の水質情報と松江大橋橋脚下における水質・流況情報の提供	海洋、内水面における研究成果や話題性のあるテーマを掲載	新規研究課題の紹介、研究成果の公表、話題、主要事業等の情報	各研究課題の結果概要	事業遂行で得られた研究成果
H26 4月	平成26年度上半期浮魚中期漁況予報	毎月発行	○	宍道湖・中海水質調査は月1回 行い、ホームページで公開。 大橋川水質情報はホームページで1時間ごと に自動更新	No.71 マイワシ資源科回復?H9年以降で最高の漁獲	第9号発行 (6月)		
5月	平成26年度第1回日本海スルメイカ漁況予報		○					
6月			○					
7月	平成25年漁期の底びき網漁業の動向 平成26年度第2回スルメイカ漁況予報		○					
8月	マアジ新規加入量調査結果速報		○					
9月			○					
10月	平成26年夏の漁況を振り返って		○					
11月	平成26年度下半期浮魚中長期漁況予報		○					
12月			○					
H27 1月	平成26年漁期前半の底びき網漁業の動向							
2月								
3月	平成26年(2014年)の島根県漁業の動向		○					

7. 開催会議

開催日	名称	開催地	担当部署
H26. 4. 18	平成 26 年度第 1 回水産技術センター連絡調整会議	浜田庁舎水産相談室	総合調整部
H26. 6. 27	ハバノリ結果報告会	JF しまね平田支所	内水面浅海部
H26. 6. 27	沖合底びき網漁業（2 艘びき）漁労長との意見交換会	浜田庁舎研修室	漁業生産部
H26. 7. 9-10	日本海西部ブロック場所長会議	浜田庁舎研修室	総合調整部
H26. 7. 30-31	「機動的禁漁区設置による底びき網漁業の管理システム e-MPA の開発」に係る協議	浜田庁舎水産相談室	漁業生産部
H26. 10. 7-8	「機動的禁漁区設置による底びき網漁業の管理システム e-MPA の開発」に係る第 1 回研究推進会議	三重大学生物資源学部 会議室	漁業生産部
H26. 10. 24	平成 26 年度第 2 回水産技術センター連絡調整会議	平田庁舎研修室	総合調整部
H26. 12. 9-10	第 42 回全国原子炉温排水研究会	県庁会議棟	内水面浅海部
H27. 1. 21	日本海西部海域コクロ赤潮事業結果検討会	県庁会議棟	内水面浅海部
H27. 2. 4-5	「機動的禁漁区設置による底びき網漁業の管理システム e-MPA の開発」に係る第 2 回研究推進会議	浜田庁舎研修室	漁業生産部
H27. 2. 20	平成 26 年度第 3 回水産技術センター連絡調整会議	県庁会議棟	総合調整部
H27. 3. 9-10	平成 26 年度第 2 回農林水産試験研究機関長会議	浜田庁舎研修室	総合調整部
H27. 3. 11	中国五県公設試験研究機関共同研究（藻場造成技術の確立・ガラモ場）担当者会議	県庁会議棟	内水面浅海部
H27. 3. 23	「沖合底びき網漁業における省エネ・省力・省人化漁具の開発」報告会	日東製網福山工場	漁業生産部

8. 成果情報

平成 26 年度に終了した 2 課題について、その研究成果を紹介します。

食用小型海藻の養殖技術開発試験

1. 研究の目的・ねらい

ハバノリ類およびウップルイノリは、消費者の需要は高いものの天然採取に依存することから、出雲地区や隠岐地区の漁業者や加工・流通業者から養殖技術開発への強い要望がある。そこで、これら小型海藻の種苗生産技術の開発を行うとともに、本県の海象条件にあった養殖技術を確立する。



図 1 匍匐体の大量培養
右上：得た匍匐体

2. 研究の概要と成果

① ハバノリ

- ・葉状体（成体）から得られた匍匐体を恒温器内で培養、これを大型水槽に展開することで、種苗の量産技術を開発した（図 1）。これを細断し、網に付着させることにより、安定的な種苗生産が可能となった。
- ・安定的な種苗生産により、10 月には海面養殖に移行、需要の多い 12 月には収穫サイズまで生長させることができ、さらに早期に海上へ沖出ししたものは 2～3 回の収穫が可能であった。
- ・収穫したものを乾燥させ、板ハバノリを製造（図 2）した。天然ものと比較して、石や雑藻等の夾雑物が少なく、品質は良好であり、市場出荷した試作品は 300 円/枚の高単価で取引された。



図 2 養殖網に生育したハバノリ（左）と製造した板ハバノリ（右）

② ウップルイノリ

- ・葉状体から得られた糸状体をカキ殻に付着させ、培養（カキ殻糸状体、図 3）することができた。
- ・温度刺激により糸状体から殻（かく）胞子（ほうし）（種苗の元）を放出させ、ノリ葉状体（成体）まで成長させることが可能となった。

3. 期待される効果・活用事例・課題等

① ハバノリ

- ・養殖技術の開発によりハバノリ類の収穫時期は12月～翌1月となり、従来のワカメ養殖の収穫時期（2～4月）と重ならないため、ワカメとの複合養殖が可能となり、冬季の収入増が期待される。

板ハバノリの生産金額：

300円/枚×1000枚※=30万円/経営体

※隠岐中村地区の漁業者が実際に生産した枚数

- ・加工業者への聞き取り調査より、関東をはじめ県内外での需要の見込みが期待された。
- ・全国的にも養殖が行なわれてなく、特産品化への可能性がある。
- ・平成27年度から「ワカメのベビーリーフとハバノリの海面養殖技術開発」に取り組み、ハバノリの量産化、特産品化に向けた生産性向上の技術開発を進めている。

【課題】

- ・沖出しのタイミングにより養殖網の葉状体（成体）密度にバラつきがでるため、安定生産を目指すうえで技術改善が必要となっている。

② ウップルイノリ

- ・得られた殻胞子を沖出しすることでウップルイノリの量産化の可能性が認められた。

【課題】

- ・温度刺激に反応して殻胞子は放出するが、放出量が少なく、緩慢であった。基礎的な育成技術の再検討、糸状体の成熟コントロールや殻胞子を安定的に放出させる技術に課題が残された。

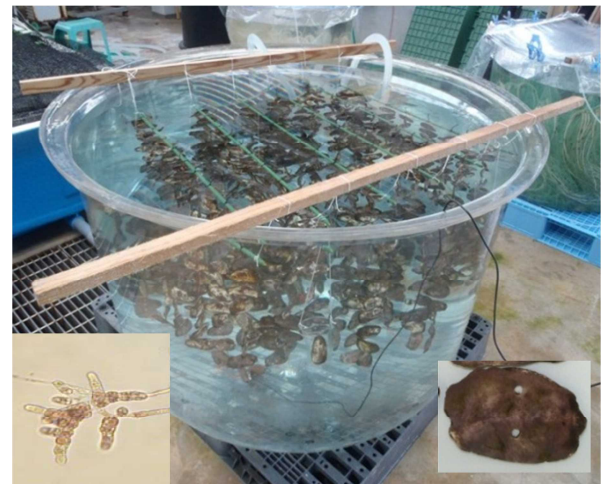


図3 カキ殻糸状体の培養



参考 ハバノリの生活史

(浅海科)

底魚類の資源回復のための漁獲管理システムの開発

1. 背景・目的

本県の基幹漁業である底びき網漁業が漁獲対象としている底魚類の資源水準は全体的に低位から中位状態であり、不定期な卓越年級の発生が見られても資源の回復に結びついていない。また漁業現場では、資源回復に関する取り組みも行われているが、有効な方策が実施されているとは言い難い。

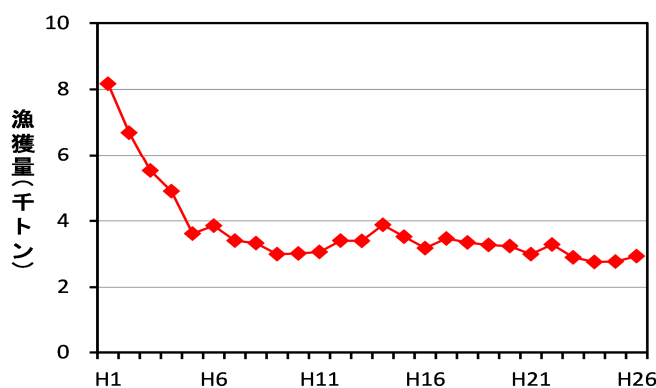
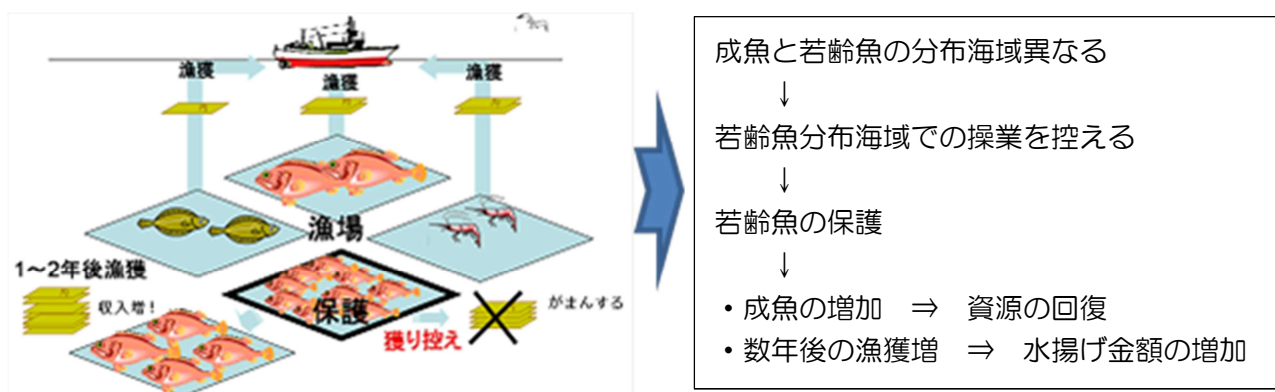


図1 浜田沖底における総漁獲量の推移

表1 漁獲対象種の資源状態

魚種	資源水準
マダイ	低位
キダイ	中位
ヒラメ	中位
ムシガレイ	低位
ソウハチ	中位
ニギス	中位
ハタハタ	中位
タチウオ	低位
ケンサキイカ	低位
ヤリイカ	低位

本研究では、ゾーニング（禁漁区設定）技術を応用した漁業管理モデルを開発し、底魚資源の回復を図るとともに、本漁業が自らの操業結果を指標として資源管理を自主的に実施していく責任ある漁業へ転換していくことを支援する。



2. 概要・成果

- ・ 漁獲努力量配分調整ルールを設定し、得た高度漁業データ（1 曳網ごとの操業位置、魚種別漁獲箱数など）を用いて漁獲管理システムのシミュレーションを行った。

漁獲努力量配分調整ルール：前の航海においてアカムツ若齢魚の漁獲が3箱以上あった操業ラインに該当する漁区全てを禁漁区とし、5時から18時までの間を操業禁止とする。発動期間はその航海のみを対象とする（図2）。

- ・ 漁獲努力量配分調整ルールに則った操業を行った場合、禁漁区を設定しない操業に比べてアカムツ若齢魚の漁獲・投棄を減少させることが可能となり、最大で3割程度の保護効果が期待できる。ま

た、主要魚種の水揚げ金額に対する影響は、禁漁区を設定しない場合と設定した場合で大きな変化は認められなかった（図3）。

- ・「水産生物の分布予測システム」の運用によるアカムツ未成魚の分布予測精度の検証を試験船により実施した。その結果、システムを運用した予測結果と試験操業での漁獲結果は高い確率で合致し、本システムの有効性が確認された。

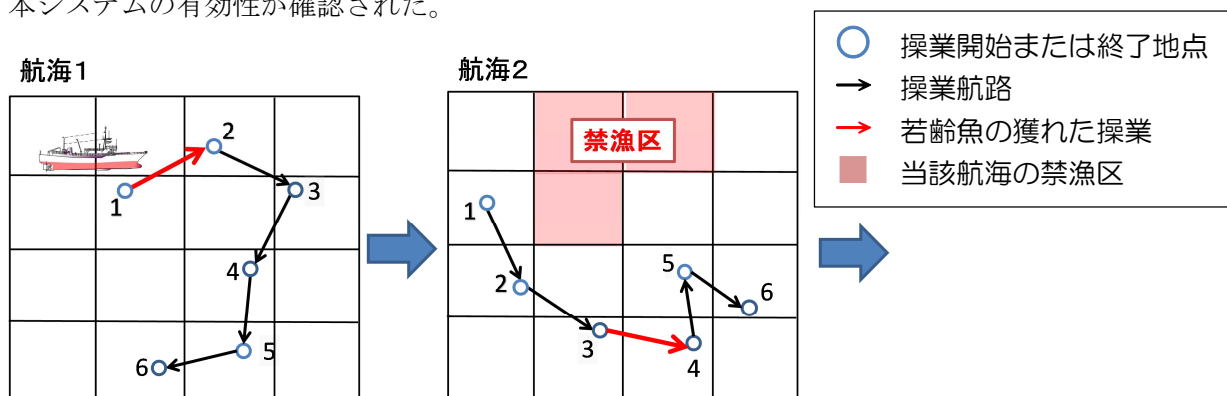


図2 漁獲努力量配分調整ルール1に基づいた禁漁区の設定例

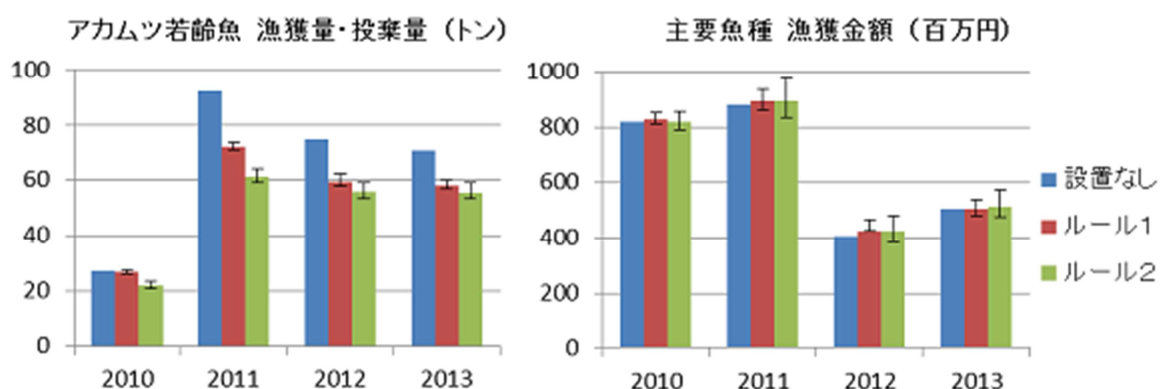


図3 禁漁区設定によるアカムツ若齢魚の漁獲量・投棄量(左)と主要魚種の漁獲金額(右)

3. 期待される効果・活用事例

- ・本研究課題により漁獲管理システムおよび水産生物の分布予測システムの基本部分が完成した。現在、農林水産技術会議競争資金を活用して進めている「機動的禁漁区設定による底びき網漁業の管理システムe-MPAの開発」において、各システムの基本部分を組合せた「底びき網漁業の管理システムe-MPA」の完成を目指す。
- ・浜田地区沖合底びき網漁業において、漁業構造改革の一環として「底びき網漁業の管理システムe-MPA」の導入試験を実施している。
- ・漁業現場において、漁業者自らが漁獲状況に応じて禁漁区を設定し、未成魚の保護を行い、将来的には水揚げ金額の増加を目指す。
- ・この資源管理手法は底びき網漁業だけではなく、他の漁業種でも応用が可能である。

(海洋資源科)